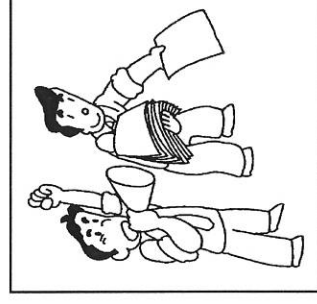




〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



6月28日(水)14:00~15:50 第4回 検数労連17夏季一交渉 修正回答を求め追求するも、これ以上の修正回答は困難と判断。 不満は残るものの、現到達をもって機関手続きに入る旨を表明。

17夏季一時金最終回答(全日検)〈要旨〉

支給額 (本給+役付) × 1.33ヶ月 + 一律 + α
 (206,067) × 1.33ヶ月 + 121,969円 + α
 全国一人平均 396,038円 + α

一律	=	職員A	175,000円
		職員B	115,000円
α	=	調整加算	
α	=	特別評価	5,000円
見習職員	全国一律	80,000円	
(平成29年4月1日入社)			
準職員	半年未満	全国一律	30,000円
	1年未満	全国一律	60,000円
	5年未満	全国一律	80,000円
	10年未満	全国一律	100,000円
	10年以上	全国一律	110,000円
契約職員	全国一律	120,000円	
支給日	平成29年7月10日(月)		

ただし、5銀行営業日前までの妥結意思表明を条件とする。

その他の取り扱いは、従来どおりとする。

17夏季一時金最終回答(日検協会)〈要旨〉

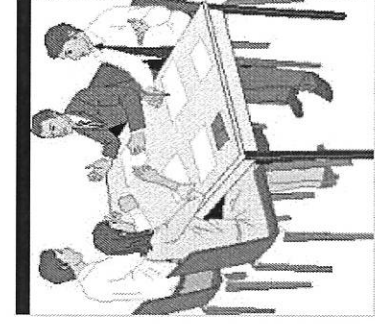
支給額 (職員、雇員)
 (本給+家族手当) × 2.0ヶ月 + 都市加算 + α
 (196,335円 + 8,510円) × 2.0ヶ月 + 40,455円 + α
 全国平均 450,145円 + α

見習員
 [(本給+家族手当) × 2.0ヶ月 + 都市加算 + α] × 0.8 × 在籍日数 / 180日

支給日 平成29年7月10日(月)

支給対象者 平成29年7月10日現在、在籍の職員、雇員、見習員

その他の取り扱いは、従来どおりとする。



第4回 検数労連17夏季一時金交渉

6月28日(水)第4回検数労連17夏季一時金交渉で、組合は日検協会に対しては昨夏比プラス回答、全日検に対しては家族・地域年齢手当の算式化と特別評価の全体配分を基本に要求に沿った上積み修正を求めました。

【日検協会】
 前回の交渉で労組から修正回答の主張を受け、今日の交渉まで様々な角度から検討を重ねた。労組要求については一定理解するものの、現在、協会取り巻く問題が山積していることから、これ以上の修正には困難であることを理解願いたい。

【全日検】
 労組主張を持ち帰り検討したが、29年度の収支状況が芳しくなく先行き不安がある中で、これ以上の修正回答はできないことを理解願いたい。

【組合主張】
 両協会の説明を受け、組合は体調を抜き、現時点での回答を分析。これ以上の修正は困難と判断。不満は残るものの、次の主張を行ったうえで収拾に向けた機関討議に入る旨を表明しました。

【日検協会に対して】
 ①一時金総額が昨夏比を下回っており、不満である。
 ②一時金は、生活安定に向けた豊金の一部であり、収益同行により安易に左右するものではない。

【全日検に対して】
 ①差別的要素を含んでいる『特別評価』については、不満である。
 ②見習い職員と準職員の回答に矛盾がある。

次回交渉：7月3日(月)14:30~第5回検数労連17夏季一時金交渉
 各地域労連(支部)闘争委員会は7月3日(月)正午までに、『中
 闘見解』に対する意見を文書にて送付すること。
 ※なお、職場集会については30分を限度にすること。